

大使館情報

2021年6月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) ボルソナーロ政権支持デモの発生
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会
- (3) ボルソナーロ政権の支持率
- (4) サレス環境大臣等に対する捜索及び押収令状の執行
- (5) 反政府デモの発生

[外交]

- (1) 日伯税関相互支援協定に関する法律の成立及び発効
- (2) 伯西政策対話の開催
- (3) 伯のチリ海底ケーブルへの参加
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大に伴うインドからの入国制限
- (5) フランサ外務大臣のグローバル・ヘルス・サミットへの出席
- (6) ボルソナーロ大統領のラッソ・エクアドル新大統領就任式への出席
- (7) フランサ外務大臣の「アフリカの日」祝賀会合への出席

3. トピックス

サンタクルス日本病院82周年式典への出席（在サンパウロ総）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（5月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査 (Focus 調査) に関して、5月28日時点で、GDP成長率予測については、2021年は3.96%で先週より0.44%上昇し、2022年は2.25%で先週より0.05%減少した。インフレ率については、2021年は5.31%で先週から0.07%上昇、2022年は3.68%で先週より0.01%上昇した。
- (イ) 3月の鉱工業生産指数は、前月比▲2.4%を記録。前年同月比は+10.5%を記録した。
- (ウ) 3月の小売売上高は前月比▲0.6%、前年同月比+2.4%を記録した。
- (エ) 全国の失業率（2021年1～3月）は14.7%となり、2020年10～12月の移動平均13.9%より0.8%悪化。前年同期比（2020年1～3月）で2.5%上昇した。
- (オ) 4月の拡大消費者物価指数（IPCA）は0.31%となり、前月の0.93%から0.62ポイント減少。直近12カ月累計は6.76%となった。
- (カ) 2021年4月の貿易収支は103.5億ドルの黒字。2021年1～4月の累計は182.38億ドルの黒字。

(2) 経済政策等

- (ア) 2021年第1四半期のGDP成長率は前期比+1.2%、前年同期比+1.0%となった。
- (イ) 5月19日、伯電力国営企業エレクトロbras社の民営化を可能にする暫定措置案が下院本会議にて承認された。今後、上院にて審議される予定。
- (ウ) 5月25日、下院憲法司法委員会（CCJ）にて、賛成39票、反対26票で行政改革に関する憲法修正案（PEC）が承認された。今後、下院特別委員会にて審議される予定。

(3) 金融政策

5月5日、伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は政策金利（Selic）0.75%引き上げて3.50%とすることを全会一致で決定した。政策金利の引き上げは前回（3月）に引き続き2会合連続。次回会合は6月15日及び16日。

(4) 為替市場

- (ア) 5月の為替市場は5.22～5.44リアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.44～5.22リアル/ドルで推移。経済回復及び税制改革の進展期待に加え、Selicが3.5%に引き上げられたこと等から1ドル=5.2レ

アル台へ。

(ウ) 月の後半は 5.22～5.36 レアル/ドルで推移。米国金利の上昇や経済回復への懸念等から 1ドル=5.36 レアルまで売られるも、GDP 上方修正等を好感し、5.2 レアル台まで値を戻した。

(5) 株式市場

(ア) 5月の株式市場は 117,712～125,983 ポイントで推移。

(イ) 月の前半は主要銀行等の決算結果を好感し株価上昇。米国のインフレ懸念から一時株価下落するも、120,000 ポイント台まで株価回復。

(ウ) 月の後半は経済回復期待、エレクトロブラス社の民営化及び税制改革の進展期待等から株価上昇。感染第3波が懸念されるも、ブラジルの格付けが維持されたことを好感し、126,000 ポイント間近まで迫った。

2. ブラジル政治情勢（5月の出来事）

【内政】

(1) ボルソナーロ政権支持デモの発生

5月1日、全伯各都市において、ボルソナーロ大統領支持者がデモを行い、同大統領への支持、紙面投票の実施及びコロナ禍における商業施設の開放を主張し、また、連邦最高裁判所（STF）及び反政府の立場を取る自治体首長に対して反対の立場を訴えた。

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

5月4日、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）の証人喚問が開始し、マンデッタ元保健相（4日）、タイシ元保健相（5日）、ケイローガ保健相（6日）、トーレス衛生監督庁（ANVISA）長官（11日）、ヴァンガルテン元大統領府広報局長（12日）、ムリーリョ・ファイザー社前伯支社長（13日）、アラウージョ前外相（18日）、パズエーロ前保健相（19～20日）、ピニエイロ保健省教育訓練局長（25日）及びコーヴァス・ブタンタン研究所所長（27日）が供述を行った。

(3) ボルソナーロ政権の支持率

(ア) 5月11日、IPESPE社（XP Investimentos社委託）による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は29%（前回調査：27%）に、不支持率は49%（前回調査：48%）にそれぞれ微増した。

(イ) 5月13日、ダッタフォーリャ社による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は24%（前回調査30%）に下落し、政権

発足後の最低水準を記録した。不支持率は45%（前回調査：44%）に微増。

（４）サレス環境大臣等に対する捜索及び押収令状の執行

5月19日、連邦警察は、欧米諸国への木材の違法輸出に関する捜査「アクアンドゥーバ作戦」の対象として、サレス環境大臣や伯環境・再生可能天然資源研究所（IBAMA）所長等に対する捜索及び押収令状35件を執行した。

（５）反政府デモの発生

5月29日、伯全国200以上の都市に加え国外14都市において反政府デモが実施された。デモ隊はボルソナーロ大統領の退陣やワクチン接種の迅速化、月額600レアルの緊急給付金の復活等を主張した。

【外交】

（１）日伯税関相互支援協定に関する法律の成立及び発効

5月6日、上院本会合において、日伯税関相互支援協定に関する法案が審議及び承認され、法律として成立した。同法律は、同月13日付官報の発行をもって発効済み。

（２）伯西政策対話の開催

5月7日、フランサ外相は、訪伯中のゴンサレス西外務・EU・協力大臣と伯西政策対話を共催し、新型コロナ禍対策における協力や経済成長の立て直し等の課題につき協議した。また、伯西両国は、この機会に際し、二国間常設委員会に関する覚書及びスポーツ協力に関する覚書を締結した。

（３）伯のチリ海底ケーブルへの参加

5月13日、伯外務省及び伯通信省は、伯がチリの海底ケーブルプロジェクト「フンボルト」に参加する旨の共同プレスリリースを発表した。

（４）新型コロナウイルス感染拡大に伴うインドからの入国制限

5月14日、伯政府は、諸外国からの入国を制限する措置につき、インドを出発又は経由した航空便及び渡航者（国籍不問）に対する制限を追加する旨の政令第653号を公布した。

（５）フランサ外務大臣のグローバル・ヘルス・サミットへの出席

5月21日、フランサ外相は、グローバル・ヘルス・サミットにボルソナーロ大統領の代理としてオンラインで出席し、新型コロナウイルスの感染拡大を

克服するため、また、将来のパンデミックに備えて更に強靱な国際システムを構築するためには、更なる国際協力関係及び国内医療制度の強化が必要である旨述べた。

(6) ボルソナーロ大統領のラッソ・エクアドル新大統領就任式への出席

5月23～24日、ボルソナーロ大統領及びフランサ外相一行はキトを訪問し、ラッソ・エクアドル新大統領の就任式に出席した。フランサ外相は、この機会に際し、グアテマラ、ウルグアイ及びアルゼンチンの外相と会談を行った。

(7) フランサ外務大臣の「アフリカの日」祝賀会合への出席

5月25日、フランサ外相は、アフリカの日を祝うためのオンライン会合に出席した。同外相は、保健分野での協力、貿易・投資状況、経済協力、安全保障分野での取り組み、ポルトガル語諸国共同体(CPLP)等について述べ、また、伯とアフリカの歴史的繋がりを強調し、アフリカ連合(AU)との定期的な政策協議のメカニズムを構築することを提案した。

3. トピックス

サンタクルス日本病院82周年式典への出席（在サンパウロ総）

5月13日、桑名在サンパウロ総領事は、サンタクルス日本病院（サンパウロ市所在）の82周年式典に出席した。式典中に、①同病院の名前を「サンタクルス病院」から「サンタクルス日本病院」への変更の発表、②在サンパウロ総領事館の草の根無償による人工呼吸器の供与式、③JICA支援による「サンタクルスがんセンター」設立の発表が行われた。

- ① 病院名の変更にあたっては、長年に亘り理事長としてサンタクルス病院を支えてきた石川レナート同病院評議会議長から、「名前の変更により我々はその起源である日本国を称賛し、日本のおもてなしの精神と尊厳のあるケアにより、引き続き患者の皆様にサービスを提供し続けていく。」との発言があった。
- ② 草の根無償の供与式にあたっては、同病院の担当医師から、「本年3月から4月にかけての第3波に対し、供与された人工呼吸器が多くを救うことができた。」との説明があった。
- ③ 「サンタクルスがんセンター」設立の発表に関しては、3月に新たに理事長に就任した佐藤マリオ同病院理事長から「我々は82年の歴史に誇りを持っている。がんセンター改修工事を完成させ、より多くの命を救える存在になりたい。また病院の拡張も今後の課題として取り組みたい。」との発言があった。



4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) Radio Nacional de Brasília への山田大使出演 (在ブラジル大使館)

日時：6月18日(金) 9時40分から

サイト：<https://radios.ebc.com.br/nacionalbrasiliam>

内容：「日本人移住の日」をテーマに山田大使が Radio Nacional からのインタビューに回答する予定。

(イ) 100 Simpósio “MPN” Movimento de Valorização do Politico Nikkei e Movimento de Valorização das Entidades Nikkeis (在ブラジル大使館)

日時：6月25日(金) 時間未定

サイト：未定

内容：イベントではブラジル日系社会の地位向上を目的とした大使館のこれまでの活動について山田大使による講演VTRが流れる予定。

(ウ) Biblioteca Literária Online (国際交流基金)

日時：6月4日(金)

サイト：https://fjisp.org.br/dossie_literario/ (国際交流基金サンパウロ日本文化センター公式HP)

内容：毎回1名の日本の作家をテーマに、様々な角度から紹介したエッセーを発信。

(エ) Tradução em Foco (国際交流基金)

日時：6月18日(金)

サイト：<https://fjsp.org.br/traducaoemfoco/> (国際交流基金サンパウロ
日本文化センター公式HP)

内容：ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者達の活動を紹介したエッセー
を発信。

(オ) FJSP 第一回ウェビナー「パウロ・フレイレの思想と言語教育」(国際交
流基金)

日時：6月20日(日) (同月13日が募集締め切り)

サイト：<https://fjsp.org.br/agenda/webinario-fjsp-paulo-freire/> (国
際交流基金サンパウロ日本文化センター公式HP)

内容：パウロ・フレイレ生誕百周年を記念し実施する、日本語教師を対象と
したウェビナー。講師として東京都立大学の野元弘幸教授を招聘する。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点
を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目
的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公
開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロとい
った複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症
流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開し
ている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館
の情報(令和2年度第四半期)は以下のとおり。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_anzen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジル連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査及び新型コロナウイルス関連情報や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html